

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7 年 3月 1日

事業所名 つくし園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	その日の人数や活動内容に合わせて保育室をパーテーションで区切るなど、広さを工夫して活動している。	
	2 職員の配置数は適切である	7	0	基準人員以外にも加配人員を配置している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	玄関やトイレなど施設内はバリアフリー化されている。	トイレに仕切りがないため、プライバシーの配慮等も考えて仕切りを置くなどの検討中。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	毎日の登園前と降園後に保育室、トイレ、事務室などすべての部屋を全職員で掃除、消毒し、安心して過ごせる清潔な環境に努めている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	定期的に職員会を開き、支援についての振り返りや反省をしている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	今年度の保護者による評価は、これまでにない高い評価をいただき、職員にとって今後の意欲付けとなっている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	毎年、職員、保護者に評価をいただき、課題と改善策についてホームページで公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1		外部評価は、本事業所の利用相談及び苦情等に関する第三者委員5名で組織され実施しており内容は議事録において開示されているが、今後も真摯に対応していきたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	パート職員の研修は時間の制限があるが、勤務時間をやりくりして全職員でオンライン研修を受講したり、伝達研修を可能な範囲で行ったりしている。	嘱託職員が受けた研修はその都度資料を回覧したり、必要に応じて伝達研修を行ったりして、パート職員にも伝え職員の力量向上に努めたい。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	児童発達支援管理責任者が少人数の特性を生かして、一人一人の保護者に丁寧な聞き取りを行い作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	園独自のアセスメントツールを使用し、一人ひとりの状況把握ができています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	ガイドラインに示されている5領域の項目に沿って計画は作成している。	特に「地域支援」の取り組みを明確化していきたい。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	パート職員も含め全職員で共有し、毎日の支援に生かしている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	年間計画に基づき、その日の担当が朝礼で具体化した活動を発表し、全職員の理解を得て行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	月案、週案等を作成し、継続したあそび、季節に応じた行事等を組み込んでいる。	その日の風、気温などの気象条件、園児の体調などにも配慮しながら活動が固定化しないよう配慮していきたい。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	7	0	集団での活動、個別での活動を取り入れるように工夫している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	毎朝の朝礼でその日の活動内容について全職員で共通理解を図り、支援計画に沿った活動につなげている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	毎日の降園後にパート職員も含め全員でその日の活動を振り返り、改善につなげている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	その日の当番が輪番制で保育日誌に活動記録をつけている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの様子を聞き支援計画に反映している。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	地域の保健師との連携が図れている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				今年度該当者はいないが、関係機関には、保育・療育について助言をいただくなど、連携している。

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				今年度該当者はいないが、全園児のかかり付け医を把握しており、異常があった場合は連携できる体制をとっている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	児童発達支援管理責任者を中心に連携をしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				今年度該当者なし。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		児童発達支援管理者を通して緊密に連携し助言や研修も受け、全職員に伝達研修を行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	0	毎年市内の幼稚園等と交流しており、今年度は宮崎市立清武幼稚園と交流した。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	2	毎月1回実施される子ども部会に児童発達支援管理責任者が参加しその結果を伝達するなど、情報共有に努めている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	全職員が保護者と良好な関係を築いており、その日の園児の様子を伝える際に必要に応じてアドバイスをを行うようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	1	保護者の悩み、心配事等その都度相談に応じてアドバイスをしている。	気になる保護者には積極的に声をかけ、具体的な支援の仕方について丁寧にアドバイスし、家庭支援を図っていく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	入園の契約を交わす際、園長が中心となって説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	保護者に分かりやすいように説明し、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	児童発達支援管理責任者を中心に常に保護者の声に耳を傾け、相談しやすい雰囲気できており、好評を得ている。	少人数の良さを生かして、気になる保護者には積極的に声をかけ、具体的な支援の仕方についてアドバイスを行い家庭支援に努めたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0		父母の会は組織されていないが、互いの悩みを相談し合うなど情報交換も密にとれており、良好な関係が保たれている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	保護者の悩み、心配事等その都度相談に応じてアドバイスをしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	今年度インスタグラムを開設し、担当を中心に積極的な情報発信に努め、保護者の好評を得ている。	今後も保護者が安心して登園させられるように、インスタグラムなどを通じて積極的な情報発信に努めたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	注意するのは当然のことで、今年度から園内での写真撮影について許可を得るよう保護者に伝え理解を得ている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	一人ひとりの子どもに合ったツールを使用している。	今後も保護者が安心して登園させられるように、インスタグラムなどを通じて積極的な情報発信に努めたい。
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2	クリスマス発表会に毎年地域のコースグループが参加している。今年度は久しぶりに、ブラレール愛好者によるブラレール運転会を開催した。	随時見学の受付を行っているが、自由参観の日を設けインスタグラムを通して情報発信するなど、開かれた事業運営に努めたい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると共に発生を想定した訓練を実施している	7	0	訓練実施の際は、職員はもとより保護者にも避難場所、避難の方法等について園児の様子を伝え認識を深めている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	毎月1回、地震、津波、火事、風水害、不審者の避難訓練を実施し、回を重ねるごとに園児も保護者も迅速に行動できるようにしている。	年度後半は告知なしで避難訓練を行っているが、今後も同様に工夫し、実のある訓練を目指したい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	てんかん発作の園児があり、保護者からいただいたハンドブックを全職員で共有し、日ごろから目に見える場所にかけて非常時に備えている。	今後も保護者と緊密に連携し、配慮が必要な子どもについては全職員が一致した対応ができるよう情報を共有し、目配りを確実にしていきたい。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				今年度該当者はいないが、毎日家庭から弁当を持参しており、保護者の責任の下で対応ができている。非常時は、マニュアルにのっとり対応する。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	該当する事例が発生した場合は、降園後の振り返りの時間に当該職員が報告し、必ず事例集に記録するようにしている。	振り返りの時間などを活用し、これまでの事例を確認しあい、事故を未然に防げるように努めていきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	全職員で研修を行い、認識を深めている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	法人内での委員会やマニュアルがあり、全職員で周知している。	園児に対して身体拘束は考えにくいですが、万一、やむを得ず身体拘束する場合は支援計画に記載し、保護者に丁寧に説明を行うことに注意しておく。